



ありがとうございました

- 野井 晋さん 卓話さして頂きます。
- 田原 久一さん 野井さん、本日の卓話よろしく。
- 谷口 文利さん 野井さん宜しくお願いします。
- 笹島 良雄さん 野井さん卓話無理をお願いして申し訳ありません。
- 岸裏 廣澄さん 野井さん本日卓話よろしくお祈いします。
- 吉田 篤生さん 3月は識字率向上月間です。よろしくお祈いします。
- 上中 崇司さん 先日はIDMありがとうございました。野井さん卓話楽しみにしています。
- 島 公造さん 野井さん卓話資料集め大変だったでしょう。卓話楽しみにしています。
- 山本 進三さん 野井さん本日の卓話楽しみです。よろしくお祈いします。
- 乾 敦雄さん 野井さん卓話よろしくお祈いします。

阪神タイガース応援団一同

野井さん、本日卓話たのしみです。

本日の累計 33,500円(計10名 11件)(お誕生日お祝い 429,240円 皆出席表彰 55,000円 その他 1,708,109円 累計額 2,192,349円)

市内ロータリークラブ情報	クラブ名	日 時	内 容
	和歌山城南R. C.	3月14日(木)	卓話「無題」弥勒 多加志会員
	和歌山南R. C.	3月15日(金)	卓話「和歌山国体に向けた取り組みについて」和歌山県総務企画課副課長 三浦 源吾さん
	和歌山中R. C.	3月15日(金)	第3回I. D. M. 発表
	和歌山北R. C.	3月18日(月)	休会
	和歌山アゼリアR. C.	3月18日(月)	例会変更
	和歌山R. C.	3月19日(火)	卓話「防火について」和歌山市消防協会 吉田 喜年さん
	和歌山西R. C.	3月20日(水)	祝日休会
	和歌山東南R. C.	3月20日(水)	祝日休会

**本日の例会** 3月14日(木) **前回の例会** 3月7日(木)

- 卓話「会社の業容について」 当クラブ会員 吉田 篤生さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
ロジャー(PAUL DUPONT)  
白いスカーフ(JUAN DE DIOS FILIBERTO)
- 卓話「メタンハイドレードについて」 当クラブ会員 野井 晋さん
- ロータリーソング 山東 勝彦 ソング委員長  
「奉仕の理想」

**次回の例会** 3月21日(木)

- 卓話「最近の学校事情」 和歌山市学校教育課文化部長 金谷 善進さん

**メイキャップ情報** (敬称略)

3月9日(土) 2640地区PETS 村田 昌之、松田 洪毅 3月10日(日) 2640地区PETS 村田 昌之、松田 洪毅  
3月10日(日) ロータリー補助金管理セミナー 山東 勝彦、松田 洪毅

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 野井 晋

「確信と絆で作ろう、希望の未来へ!! 今日より一歩」

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**  
URL <http://www.werc.jp> E-mail [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

2013年3月14日(木)  
週報 / VOL.54 No.34(通巻2580)

**会長報告**

島 公造 会長



皆さんこんにちは。先日の3月3日、アゼリアR.C.の十五周年記念式典及び懇親会へ山本幹事と行って参りました。その前のアゼリアバンド、南紀洪水チャリティコンサートの成功(百五十万円寄付することができました) やっぱりクラブができて15年若いクラブ何が違うのかと考えましたが、集中結束力があり、クラブの催し物に全員一丸となるすばらしいパワーを感じました。我がクラブもこうでありたいとつくづく思い帰途につきました。話は変わり、昨日和歌山城の松270本のこも外しがありました。冬ごもりをしていた虫が地中から這い出る頃とされる「啓蟄(けいちつ)」、虫は暖かい場所へ移動する習性が有り、取り外されたこもは虫ごと焼却処分にされるとの事。春だなど感じられる今日この頃になってきました。

**幹事報告**

山本 進三 幹事



- 下記のお知らせ・案内が来ましたので回覧します。
- ・国際ロータリー年次大会参加旅行のご案内パンフレット
  - ・国際ロータリー2640地区より、ロータリーレート変更のお知らせ 1ドル=92円
  - ・和歌山東南ロータリークラブより、1月度プログラム予定表

**委員会報告**

社会奉仕委員会 吉田 篤生 委員長



3月は地区の識字率向上運動月間であり、当クラブも協賛したいと思いますので、ご協力宜しくお願いします。協賛先は日本ユネスコ協会連盟で、募集内容は、書き損じはがき、未使用切手、未使用テレホンカード、日本円となっています。例会場又は事務局まで締め切りは4月15日となっていますが、出来るだけ早くお願いします。

**卓 話**

「メタンハイドレードについて」 野井 晋 会員



我が国は資源のない国だと誰もが認識しており、世界中の国からエネルギー資源を筆頭に鉱物、穀物等あらゆるものを輸入していますが、近年我が領土内でエネルギー資源が発見されました。二つあります。

まず一つはメタンハイドレートです。日本列島を取り囲むように近海の下海底表面付近(日本海側)、海底より数10~数100m下の泥砂中に(太平洋側)全く別の形態で存在しており埋蔵量は現在日本で消費

**出席報告**

会員数 45名(内出席規定適用免除会員17名) 山東 勝彦 出席委員長

3月 7日(本 日)	26名	70.3%	2月21日(メーキャップ後)	30名	83.3%	(欠席者6名)
------------	-----	-------	----------------	-----	-------	---------

皆さん、出席してください。

されているガス使用量の約100年分に相当すると予想されています。

二つめは**オーランチオキトリウム**（現在使用されている重油と同じ炭化水素の油を作る藻）の実用化が6～10年で達成され日本の石油需要を賄える。その上輸出要請にも応えることが出来る。このような朗報を伝えてくれる新聞、ラジオ、テレビは関西テレビ(8チャンネル)を除けば存在しません。何故なのでしょう？ 皆さんよく考えて下さい。

此の二つの資源開発は日本独自のものであって他国に干渉されることはあり得ないことです。開発、実用化は我が国にとって喫緊、最重要なのに政府による予算配分が行われません。何故だろう？ 政治的な暗黒の闇が見えてきます。それはアメリカ合衆国、国際石油資本、それに群がる日本の既得権益集団があらゆる手立てを弄して立ち塞がっているのです。此の旧弊を打破することは尋常一様的手段では太刀打ちできません。メタンハイドレード(日本海側)の公然裏方の独立総合研究所青山繁晴氏に兵庫、京都、和歌山の三首長が具体的な支援、協力を申し入れて下さっています。皆様にも日本のために草の根運動ですが燎原に燃え立つ炎になって頂きたいと念願します。最善の方法をお教えいただければ幸いです。

オーランチオキトリウムを発見された筑波大学大学院生命環境科学研究所 渡邊信教授は「藻類産業創成コンソーシアム」を立ち上げられ、藻の油で“国を守る”という意識で日本発に拘っておられます。外国よりのオファーについては日本を愛するが故に丁重にお断りされておられます。

お二人に共通するものは己の身を顧みず日本のために尽くしたいという崇高な精神以外の何ものでもありません。心から敬意を表したいと思います。先生方のご苦勞が結実してこそ日本はエネルギー資源大国としての地位を確保することが出来ます。

## (メタンハイドレート)

「燃える氷」と呼ばれ、現在もっとも注目を集めている次世代エネルギー資源。

メタンハイドレートとはメタンと水が低温高圧の環境下で結合した結晶のことです。ただ、資源となるのは人工的につくったものではなく、あくまでも自然界に存在するものにかぎられます。調査によれば、自然界では日本、米国、インド、カナダ、の沖合の海底下地層中などで確認されています。さらにカナダ、米国アラスカ、ロシアの永久凍土地域の地層中にあることも確認されています。

日本は、メタンハイドレートの資源化に関して世界のトップランナーとして走るが、今回新たに日本海で、巨大なメタン噴出を伴う海底メタンハイドレートを発見した。

ダ永久凍土地域の地層中にあるメタンハイドレートからガスを連続的に生産できることを実証しました。そして、

## (エネルギー資源としてのメタンハイドレート)

メタンハイドレートとは、メタンガスと水から成る氷状の固体物質である。

大量のメタンを取り込んでおり、1立方センチ、角砂糖ほどの大きさのメタンハイドレートには1気圧の状態ですら164立方センチ、牛乳瓶1本分ほどのメタンガスが取り込まれる。メタンハイドレートは低温高圧条件では安定に存在するが、私達が住む地表条件では不安定ですぐに分解する。したがって、低温高圧の深海底や深海の堆積物中ではメタン濃度が高くなると、メタンは気体ではなく固体物質＝メタンハイドレートとなるが、沼地では

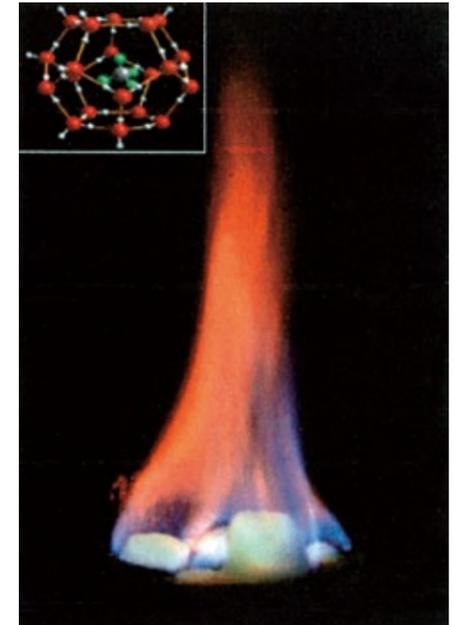
メタンガスが発生してもメタンハイドレートは出来ない。一方、深海堆積物は海底直下では海水と同じように低温であるが、深くなると次第に温度が高くなりメタンハイドレートは存在し得なくなる。このように、深海底では、海底から数十メートル～数百メートルの厚さでメタンハイドレート安定ゾーンが存在する。

潜水調査など様々な手法による海洋調査が進んだ結果、深海底堆積物中に広範囲にメタンハイドレートが存在することが確かめられてきた。しかしそれらは一般に堆積物の隙間に“広く薄く”滲み込むように分布しており、資源としての集積度は低い。メタンハイドレートの資源化を図るには、集積度の高いメタンハイドレート含有層が広域的に分布する場所を探し当てなければならない。

実用化が韓国によって国際ガス・メタンハイドレード学会で発表されました。必ず実現出来るのでしょうか。此の目論見は国民の総力で粉碎し、我が日本が早期に商業化を成し遂げ世界のリーダーたる地位を守りたいものです。

日本として自前の燃料資源約100年分を確保でき、輸入燃料資源より遥に安価ということは国家隆盛の源になること間違いありません。

私達の孫、曾孫の代まで後顧の憂いを無くせると信じます。



燃えるメタンハイドレート

## 速報

### 海底メタン世界初採取

経済産業省は、3月12日、愛知県沖80kmの海底地層からメタンハイドレートの試採取を成功したと発表した。海底からの採取は、世界初である。

#### 野井会員殿

体調万全でなきにしもあらずの時に、卓話をお願いしたのにもかかわらず、誠に真摯な対応を賜り感謝致します。頂戴した膨大なる資料を週報にては稚拙な編集、割愛等を行い、お詫び申し上げます。

本日の世界初の海中メタンの採取成功が、このタイミングで成功するとは、喜ばしくも不思議ささえも憶えます。

有難う御座いました。

プログラム委員長 笹島良雄